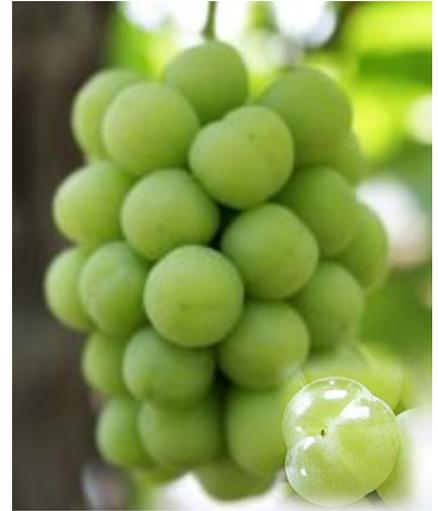


瀬戸ジャイアンツ

岡山市東区(旧瀬戸町)のぶどう育種家 花澤茂 氏が「グザルカラー」と「ネオ・マスカット」を交配し、選抜育種した品種で、平成元年(1989年)に「瀬戸ジャイアンツ」として品種登録された。

約3本の筋の入る独特な果粒の形と、果皮が非常に薄いことから皮ごと食べられることが最大の特徴である。



1 主要特性

- ・果粒は大きく、2～3の溝状の筋が現れる。酸が少なく、香りはない。
- ・果皮は黄緑色で、皮が非常に薄いため、皮ごと食べられる。
- ・脱粒しにくく、日持ちが良い。
- ・種なし栽培ができる。

2 データ

(1) 生産状況(令和2(2020)年産)

栽培面積: 40 ha(全国1位) ※農林水産省特産果樹生産動態等調査

(2) 県内の主産地

岡山市、倉敷市、高梁市等

3 出荷時期

7月～11月

4 その他

系統外の流通として「岡山県桃太郎ぶどう生産組合」(平成7年(1995)11月7日結成、県外会員も存在)では、「桃太郎ぶどう(商標登録日:平成10年(1998)3月13日)」の名称で、独自の出荷箱により販売している。